

横山	山	山	山	山	森	村	武	三	三	丸	松	松	松	堀	福	長	西	澗	高	鈴	新	小	片	片	小	大	足	淺
田本	田	下	岸	岸	山	藤	輪	木	山	山	原	田	越	井	川	堀	岡	橋	木	見	池	山	桐	川	庭	立	輪	
喜和	宗	直	邦	昌	真	金	明	信	次	浩	隆	義	浩	勝	康	英	光	三	康	真	弘	幸	好	安	靖	孝	重	
米	一	春	造	平	清	行	郎	臣	夫	郎	史	一	隆	一	德	祐	二	健	次	夫	康	一	弘	雄	弘	弘	雄	信

小桜長
宮井森
朝種祐
一
明明郎

伊藤先生を囲んで 童心に返って楽しむ

明二会(昭和二十五年卒)

明治高校第二回卒業生(昭和二十五年卒)である私達の同期会は明二会と名づけられています。在学中は学制改革の時期にあたり、中学四年から高校二年へ進級し、高校二年を修了して大学へ進学したのも大勢いました。従って正確にいうと明治高校中退者と卒業生の集団ということになります。

戦中から戦後の混乱期に中学・高校生活を送った関係から、同級生の中には途中で学校を去って行ったものや入学して来たものが大勢いたのも私達の同期の特徴の一つだと思います。

それから三十年程を経て、明中・明高同窓会の発足と期を一新して同期会がスタートしました。神保町で書籍店を経営する高橋君と明治大学学生相談室に勤務する相沢君が世話役になり明二会が結成され、それ以来毎年秋に集まっています。

昨年は十二月三日、泉岳寺にあるホテル高輪に二十八名が集まりました。高校卒業の時の担任教師であった伊藤先生をお招きし、先生の近況をおつかいし、昔交わった先生方について



明二会(昭和二十五年卒)

語り合ひ、当時の貴重な写真を見ながら懐旧談に花を咲かせました。仕事の関係や遠方に住んでいるため出席出来ないものからの近況報告なども寄せられ、旧友の活躍の状況が想像されました。

二次会は力根君が義理で経営するパブへ繰り出し、カラオケを奪い合いながらのひと時は何の遠慮や気兼ねもなく、童心に返って、本当に楽しい晩でした。

来年も又春には同窓会で、秋には明二会でお集まりを約しながら別れた次第でした。

【写真】伊藤先生を囲んだ明二会のメンバー

最高点で「明楽会」に この機に中味も濃く

明楽会(昭和三十一年卒)

下の「ピオンドール」を会場として開かれました。銀座という地の利もあって、七十八名の多数の参加を得られ、伊藤好一先生をはじめ、かつての恩師の出席もあり、立食パーティながら、かえって和やかな歓談の時間を過ごすことができました。

この会で、我々の会にも名前を、との話がまじり、二、三の候補名を挙げて投票の結果「明楽会」が最高得票で選出された。この日から、我々三十二年卒同期会は、「明楽会」を称することとなりました。

今後の明楽会は、単に同期生間の友好だけに留まらず、内容の充実に向けて種々の活動を描いていきます。

その一つとして、従来、名簿は毎年作成してききましたが、今年度の名簿は一味違った中味の濃いものを計画しています。

主な項目は次の通りです。

氏名・住所等は従来通り。職業欄に業種、取扱品目の紹介、宣伝・自己PR・趣味・近況等短評

近日常に皆さんが原稿を寄度同期会は、銀座小松スナ地集めます。

私学の気骨が誇り

来年はホスト学年

明治会(昭和32年卒)
文武両道・質実剛健の良き明

来年同期
会を予定

昭和三十三年
第十回卒

高の産物である。野球の村田・バレーの当間・あまのタモリの社長である田辺・政治の倉嶋・秀

高の産物である。野球の村田・バレーの当間・あまのタモリの社長である田辺・政治の倉嶋・秀

厄年など恐くない

花の三十六年卒

才の寺瀬・高田と多士落々であるが、私学の気骨をOBとして誇っている。現在、会員一九〇

才の寺瀬・高田と多士落々であるが、私学の気骨をOBとして誇っている。現在、会員一九〇

有難い恩師 の存在

—17年振り再会も—

明優会(四十年卒)

我々四十年卒同期会(明優会)は今年休年であるが、有志がゴルフコンペで楽しい一日を過ごして旧交を暖めている。

昨年度の同期会はS君の紹介で赤坂東急ホテルにて開かれ、松枝先生、水落先生、村野先生、新井先生の四氏を招いて春の夜、大いに楽しい一時を過ごした。卒業してから十七年振りの恩師の再会という同期諸君も多数いて話のときれる間がなかった。とにかく感激と友情を語ったあの明高時代を振り返り、クラブ活動に、遊びに、そして大いに勉強したことが、今日の我々になっている。

ことを思う時、つくづく恩師とは貴重な存在である。幸いにして我々同期からT君が明高の良き伝統を受け継ぐべく、母校に勤務していることは頼もしい限りである。社会的にも責任ある地位につくつある我々であるが、互いに補い合つてこれからは大いに頑張っていこうではないか。

現在の明治高校 野球部の練習について

昭和55年度卒業 卯木敏也

現在の明治高校野球部の選手たちを見て、私は皆本心に野球が好きなのか、又自分のために練習しているのだろうかと思ひます。学校がある日など、グラウンドへ来て練習しているのを余り見かけません。聞けば、校庭で練習しているとのことですが、あの狭いコンクリートの校庭で満足な練習ができるのでしょうか。やはり野球というものは土の上でやるものだと思います。また校庭でやるのであれば、時間も三時過ぎから五時迄と限られてしまいます。グラウンドへ

のですが、その時一番感ずる事は、今の選手は練習の合間にグラウンド内を平気で歩いているという事です。私が現役でやっていた頃は、そんな事をすれば即座に怒鳴られたものですが、今は何も注意していない様です。これはやがてと思はれます。今でもできることなので改めて方がいいと思います。

また練習内容のことなのですが、今は打撃練習にほとんどこの時間を費やしている様ですが、やはり学生野球というのは、投手を含む守備が大事だと思います。ですから、投手はもっと投げ込みを、野手はこれまで以上にノックを受けるべきだと思います。守備(もちろん投手も)がしっかりしていれば、投手は、どんなに弱いと言われていたチームでも、バッテリーを中心とした守備がしっかりしていた為、ある程度の成績は残せたのです。

行はナイター照明や室内練習場などがあるので七時半頃までは十分練習できます。自宅が遠い選手などは少し帰宅時間が遅くなるかもしれませんが、多くの先輩方がやってこれたのだから、我々もやれるはずだと思ひます。確かに現在では学校側が厳しくなっているが以前と比べると、先輩方がやってこれたのだから、我々もやれるはずだと思ひます。

いろいろと注意な事はありますが、書かせていただきましたが、これも明治高校野球部OBの一人として、少しでも強くなつて欲しい、と思つて書かせていただいた次第なので、お許し下さい。

明治の洋食 くらー亭

毎月第1・第3金曜日 午後5:30~8:30

洋食と麦ごはんの会 会費 ¥3,000

渋谷東邦生命ビル1F (406) 4188

ステーキとシチュー キャプテン クラーク

神田すずらん通り 三省堂そば (291) 1668

キリスト教結婚式と披露宴

東京YMCAレストラン

神田小川町 (292) 7241-2

ナカトミ レストラン チェーン

第十九回総会

ホスト学年

二九会幹事 (昭和二十九年卒)

会長 矢嶋 偉行

OB会副会長 山本 巖

会計 朝比奈 四十一

山本 峰 司

阿出川 弘

大橋 成 光

倉田 秀 夫

西湖 正 明

山浦 辰 暉

飯田 利 良

毛利 喜 昭

青木 由 次